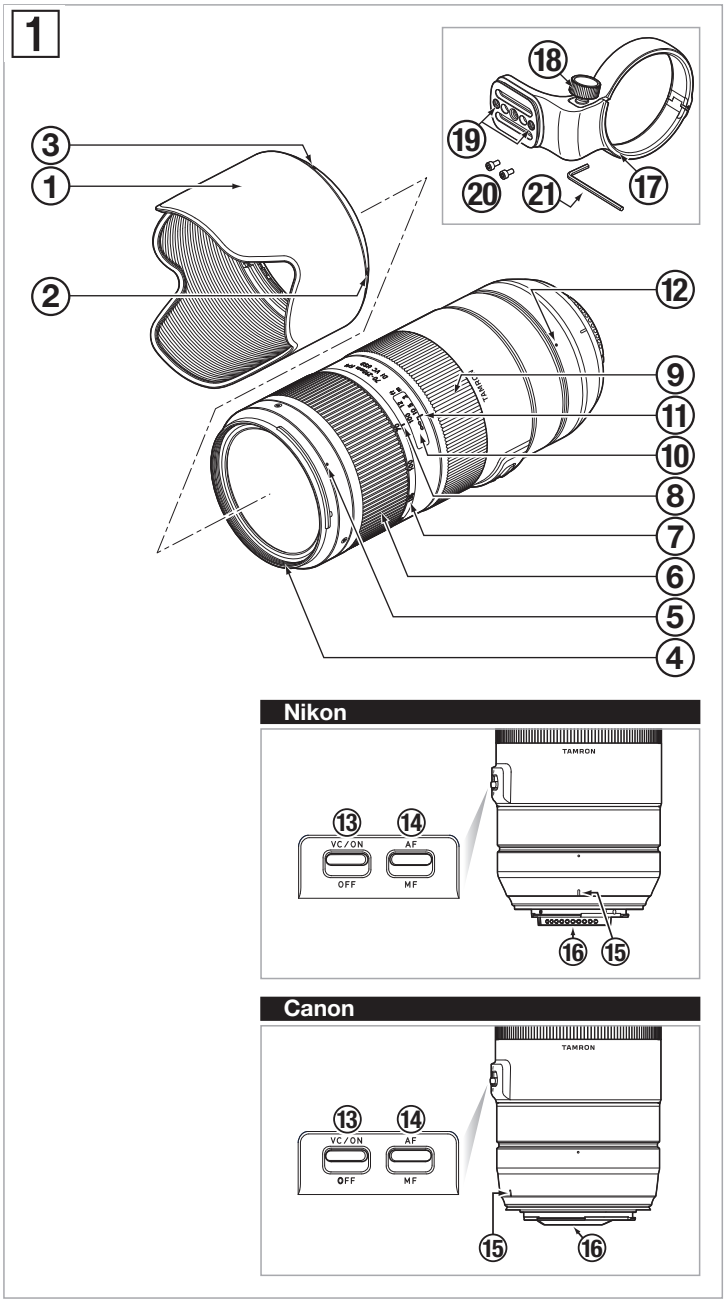
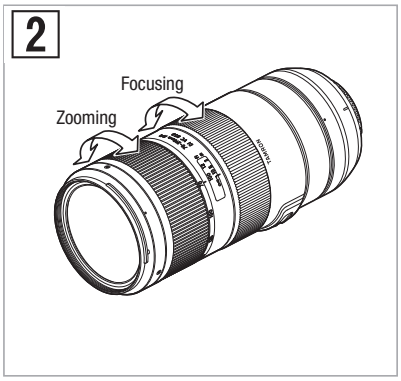
TLM-A034-T/T-1709-01

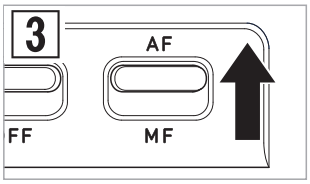
TAMRON | Model: A034 Owner's manual

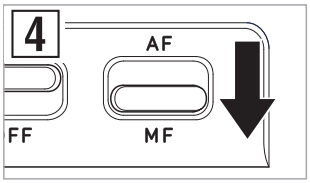
70-210mm F/4 Di VC USD

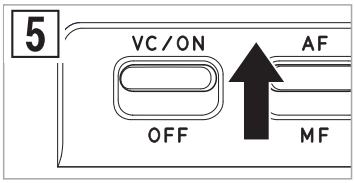
(for Nikon, Canon)

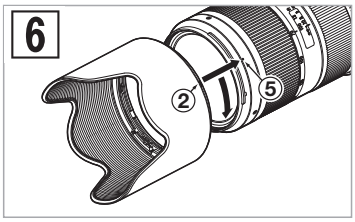


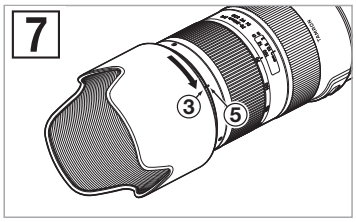


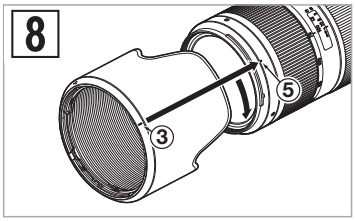


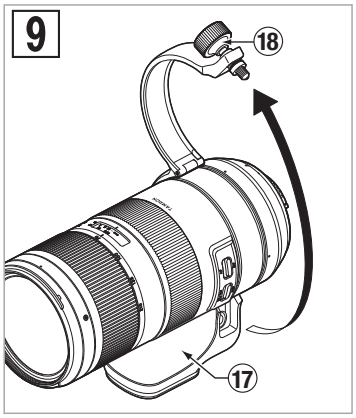


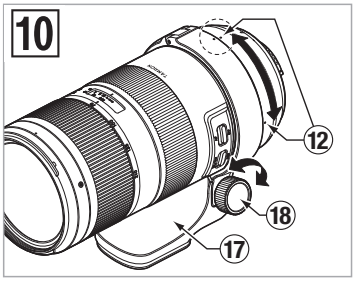


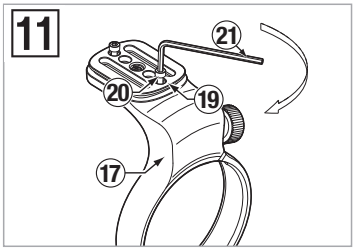


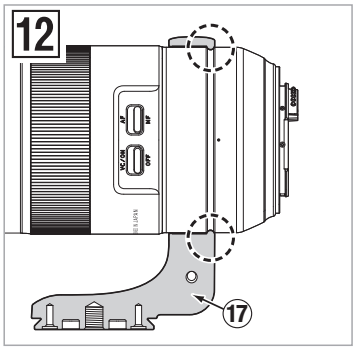












CE * The CE Marking is a directive conformity mark of the European Community (EC).
* Das CE-Zeichen entspricht der EC Norm.
* La marquage CE est un marquage de conformité à la directive CEE (CE).
* La marca CE es marca de conformidad segun directiva de la Comunidad Europea (CE).
* Il marchio CE attesta la conformita alla directtiva della Comunità Europea (CEE).
* CE 标志表示符合欧州共同体(EC)指标

CE The EEC Conformity Report applies to the Council Directive 2014/30/EU, 2011/65/EU and is used by Tamron Co., Ltd., manufacturer of this product.

日本語

タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も、併せてお読みください。
お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。
本レンズをお使い頂く上での安全上のご注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

- 不都合が生じる恐れがある注意事項が書かれています。
- 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

各部の名称（図 1 参照）

① レンズフード
② フード取付指標
③ フード固定指標
④ フィルター取付リング
⑤ フード着脱指標
⑥ ズームリング
⑦ 焦点距離目盛
⑧ 焦点距離指標
⑨ フォーカスリング
⑩ 距離目盛
⑪ 距離指標
⑫ 三脚座指標
⑬ VCスイッチ
⑭ AF・MF切替スイッチ
⑮ レンズ取付指標
⑯ 信号接点

三脚座（Model A034TM / 別売）

⑰ 三脚座
⑱ 三脚座固定ネジ
⑲ セーフティーロックネジ取り付け用ネジ穴
⑳ セーフティーロックネジ（2本）
㉑ 六角レンチ

主な仕様

モデル	A034
焦点距離	70 - 210 mm
明るさ	F/4
画角（対角）	34°21'-11°46'
レンズ構成	14群20枚
最短撮影距離	0.95 m
最大撮影倍率	1:3.1
フィルター径	ø67 mm
長さ	174 mm*
最大径	ø76 mm
質量	850 g*
レンズフード	HA034

- * の数値はニコン用のものです。
- 長さ：レンズ先端からマウント面までの距離。
- 仕様・外観は、お断りなく変更する場合があります。

カメラへの取り付け・取り外し

レンズの後キャップを外し、レンズ取付指標⑮とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。
レンズをニコンの場合は反時計回り、キヤノンの場合は時計回りにロックがかかるまで回します。
取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、取り付け時とは逆回りに回して取り外します。

- カメラの電源OFFの状態で取り付け・取り外しを行ってください。
- キヤノンのカメラは、カメラのEFレンズ用指標（赤丸）に合わせてください。
- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

フォーカスモードの切り替え（図 1 - 4 参照）

オートフォーカス（AF）で撮影するときは、AF・MF切り替えスイッチ⑭をAFにします。（図3）
マニュアルフォーカス（MF）で撮影する場合は、AF・MF切り替えスイッチ⑭をMFにし、フォーカスリング⑨を手で回してピントを合わせます。（図2, 4）

- 距離目盛⑩は、ある程度の目安として表記していますので、実際のピント位置と異なる場合があります。
- AF撮影時、被写体によってはAFが合いにくい場合があります。

- フルタイムマニュアル機構により、AFでピント合わせの際、AF・MFスイッチ⑭がAFのまま、フォーカスリング⑨を回すことでMFへ切り替えることが可能です。シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを半押ししますと、AFが再開します。
- さまざまな状況下でピントを確保できるよう、フォーカスリング⑨は無限遠（∞）位置よりも余分に回転します。したがってマニュアルフォーカス撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

VC機構について（図 1, 5 参照）

VC（Vibration Compensation）は、手持ちで撮影した際に起こる手ブレを補正する機構です。

■VCの使い方（図 5）

VCを使用する際は、VCスイッチ⑬をONにしてください。
シャッターボタンを半押しした後、ファインダー像が安定するのを確認してから撮影してください。

● VCは以下のような状況下で有効です

- 薄暗い場所
- ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な場所

●次のような状況では、VCが十分に作動しない場合があります

- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
- カメラを大きく動かしながらの撮影
- 三脚を使用して撮影するとき
- バルブ（長時間露出）撮影の際には、VCスイッチ⑬をOFFにしてください。VCが誤作動を起こす場合があります。

- VCの原理上、シャッターボタンを半押しした直後、ファインダー像がゆれる事がありますが故障ではありません。
- VCスイッチ⑬をONで使用する場合、カメラの電源を消費するため撮影可能枚数は少なくなります。
- 三脚を使用するなど、手持ち以外で固定して撮影するときは、VCスイッチ⑬をOFFにしてください。
- VCが作動中はレンズを取り外さないでください。VC作動中に外してしまった場合、レンズを振るとカタカタと音がする事がありますが、故障ではありません。レンズをカメラに装着し、カメラの電源をONにすると音は消えます。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中はVCがOFFになります。（ニコン用のみ）

ズーミング（図 1, 2 参照）

ファインダーをのぞきながらズームリング⑥を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。

レンズフードについて（図 1, 6 - 8 参照）

バヨネット式レンズフード①が標準装備されています。
描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影することをお勧めいたします。

■使用時（図 6, 7）

レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード取付指標②を合わせます。
フード着脱指標⑤にフード固定指標③が合うまでフード①を矢印の方向に回します。

■収納時（図 8）

フード①を逆向きに取り付けることで、収納することができます。
レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード固定指標③を合わせます。
フード着脱指標⑤にフード取付指標②が合うまでフード①を矢印の方向に回します。

- フード①が正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

三脚座（別売）（図 1, 9, 10, 12 参照）

A034用の三脚座⑰（Model A034TM / 別売）でレンズを三脚に固定することができます。

■三脚座の取り付け・取り外し（図 9, 12）

三脚座固定ネジ⑱を回してゆるめ、ネジがついている部分を持ち上げることで着脱できます。
装着時は鏡筒側の溝に、三脚座の内径凸部がはめ込まれていることを確認の上、必ず三脚座固定ネジ⑱を締めて固定してください。
装着時、鏡筒側の溝に三脚座の内径の凸部がはめ込まれていないと鏡筒側の破損やレンズの脱落の恐れがあります。

■カメラの縦横の位置を変える（図 10）

カメラの縦横位置を変えるときは、三脚座固定ネジ⑱をゆるめることでレンズを回すことができます。
レンズ側の三脚座指標⑫と三脚座の指標を合わせてください。
撮影位置を決めたら必ず三脚座固定ネジ⑱をしめて固定してください。

- 三脚座⑰はアルカスイス規格の雲台に取り付けることができます。

セーフティーロックネジ（三脚座の付属品）（図 1, 11 参照）

アルカスイス互換の雲台・クランプをご使用いただいているお客様に、雲台のタイプに合わせ取り付けをお勧めします。

■セーフティーロックネジの使用方法について（図 11）

セーフティーロックネジ⑳は、三脚座をアルカスイス互換の雲台・クランプ等に取付けて使用する際に、雲台からの脱落を防ぐ効果があります。
図のように六角レンチ㉑を用いて、セーフティーロックネジ⑳をセーフティーロックネジ取り付け用ネジ穴⑲2ヶ所に取り付けてご使用ください。

- セーフティーロックネジ⑳取り付け後は、脱落防止のためネジの頭部が三脚座の底面から飛び出した状態となります。そのため、アルカスイス互換以外の雲台・クランプをご使用の場合は、取り付けの必要はございません。

撮影時のご注意

- 最短撮影距離を短くすることを実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、画角が広くなります。
- カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。
- カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。
- ミラーレス一眼カメラでの使用は保証外となります。

長くご使用いただくために

- レンズ面についたゴミや汚れは、ブロアーで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。
- レンズ面の清掃は、市販のレンズクリーニングペーパーやよく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス（眼鏡などの専用清掃布）に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。
- 鏡筒部はシリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- 前玉には撥水・撥油性に優れた防汚コートが施されています。水分をはじくため、前玉のお手入れの際はレンズクリーナー等を使用せずに乾拭きを行ってください。
- カビはレンズの大敵です。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。
- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。
- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。
  ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

TAMRON 日本語

タムロンレンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「タムロンレンズ安全上のご注意」と取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるように、保管してください。
この説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の２種類に分けています。

⚠警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- レンズやレンズをつけたカメラを太陽や強い光源に向けてのぞいたり、撮影したりしないでください。失明やレンズ、カメラの故障、火災の原因となります。
- 分解したり、修理や改造をしないでください。
  レンズやカメラの損傷の原因になります。
- レンズは乳幼児の手の届くところへは置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして怪我をする恐れがあります。

⚠注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。または物的損害が発生する可能性があります。

- 日光が直接あたるところや、自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品へ影響を与え、火災の危険となる場合があります。
- 使用しないときは、レンズキャップを必ず付けてください。
- レンズをカメラに装着する場合は、レンズとカメラを正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。
  正しく装着されていない場合、レンズが外れなくなる、外れて落下する等、故障やけがの原因になります。
- レンズは撮影以外の用途には使用しないでください。
- 三脚にレンズを取り付けたまま移動しないでください。